

**建設機械用油圧作動油規格 (JCMAS P041:2004, JCMAS P042:2004) 運用マニュアル
正 誤 表 (2017 年 4 月改正)**

箇条・段落	頁	位置	誤	正
表紙	1	-	(平成 26 年 4 月改正)	(平成 29 年 4 月改正)
3. 3 表 2 注	9	6)	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験, 又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のいずれかにより評価する。	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験, 又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のいずれかにより評価する。 <u>ただし JCMAS P045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。</u>
3. 3 表 2 注	9	7)	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。 <u>35VQ25 ポンプ試験は、以下の 2 種類の試験法いずれも可能とする。</u> <u>7.1) 1 セットの部品で 150h 連続して試験を行い、上記の合格基準を満足する。</u> <u>7.2) (1 セット部品×50h) の試験を 3 回を行い、3 回の試験とも上記の合格基準を満足する。</u>
4. 3 表 5	1 2	寿命評価方法 (A2FO10)	粘度変化 (4 0℃) (%) 1 0	粘度変化 (4 0℃) (%) ⁷⁾ + 1 0
4. 3 表 5 注	1 3	7)	-	<u>JCMAS P045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。</u>
5. 6	1 4	標準油の表 JCMASP047 (マイクロクラッチ試験) の標準油	R1	R2
Appendix III 書式-2a-2	3-7	寿命評価方法 (A2FO10) 粘度変化 (4 0℃) (%)	1 0	+ 1 0
Appendix III 書式-2a-2 注	3-9	6)	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験, 又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のいずれかにより評価する。	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験, 又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のいずれかにより評価する。 <u>ただし</u>

				<u>JCMAS P045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。</u>
Appendix III 書式-2a-2 注	3-9	7)	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。 <u>35VQ25 ポンプ試験は、以下の 2 種類の試験法いずれも可能とする。</u> <u>7.1) 1 セットの部品で 150h 連続して試験を行い、上記の合格基準を満足する。</u> <u>7.2) (1 セット部品×50h) の試験を 3 回を行い、3 回の試験とも上記の合格基準を満足する。</u>
Appendix III 書式-2b-2	3-11	寿命評価方法 (A2FO10) 粘度変化 (40℃) (%)	10	+10
Appendix III 書式-2b-2 注	3-12	6)	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験、又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験のいずれかにより評価する。	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験、又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験のいずれかにより評価する。 <u>ただし JCMAS P045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。</u>
Appendix III 書式-2b-2 注	3-15	7)	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。 <u>35VQ25 ポンプ試験は、以下の 2 種類の試験法いずれも可能とする。</u> <u>7.1) 1 セットの部品で 150h 連続して試験を行い、上記の合格基準を満足する。</u> <u>7.2) (1 セット部品×50h) の試験を 3 回を行い、3 回の試験とも上記の合格基準を満足する。</u>
Appendix III	3-15	寿命評価方法 (A2FO10)	粘度変化 (40℃) (%)	粘度変化 (40℃) (%) ⁷⁾

書式-2 c -2		評価時間 (500h)	1 0	+ 1 0
Appendix III 書式-2 c -2 注	3-16	7)	—	JCMASP045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。
Appendix III 書式-2 d -2	3-18	寿命評価方法 (A2FO10) 評価時間 (500h)	粘度変化 (4 0℃) (%) 1 0	粘度変化 (4 0℃) (%) ⁷⁾ + 1 0
Appendix III 書式-2 d -2 注	3-19	7)	—	JCMASP045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。
Appendix III 書式-7a-2	3-26	寿命評価方法 (A2FO10) 粘度変化 (4 0℃) (%)	1 0	+ 1 0
Appendix III 書式-7a-2 注	3-28	6)	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験、又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のいずれかにより評価する。	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポンプ試験、又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のいずれかにより評価する。 <u>ただし JCMASP045 については、試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が、基準値を満足することとする。</u>
Appendix III 書式-7a-2 注	3-28	7)	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する。 <u>35VQ25 ポンプ試験は、以下の 2 種類の試験法いずれも可能とする。</u> <u>7.1) 1 セットの部品で 150h 連続して試験を行い、上記の合格基準を満足する。</u> <u>7.2) (1 セット部品×50h) の試験を 3 回を行い、3 回の試験とも上記の合格基準を満足する。</u>
Appendix III	3-30	書式-7 b -2 寿命評価方法 (A2FO10) 粘度変化 (4 0℃) (%)	1 0	+ 1 0
Appendix III	3-32	6)	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポ	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P 044 の HPV35+35 ポ

書式-7 b -2 注			ンプ試験, 又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のい ずかにより評価する。	ンプ試験, 又は JCMAS P 045 の A2FO10 ポンプ試験 のい ずかにより評価する。 <u>ただし JCMASP045 については、試験時 間 500 時間に達するまでの各 時間の分析値が、基準値を満足 することとする。</u>
Appendix III 書式-7 b -2 注	3-32	7)	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試 験、又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のい ずれかにより評価する。	ベーンポンプ試験は、ASTM D 7043 の V104C ポンプ試験、 又は ASTM D 6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより 評価する。 <u>35VQ25 ポンプ試験 は、以下の 2 種類の試験法い ずれも可能とする。</u> <u>7.1) 1 セットの部品で 150h 連続して試験を行い、上記の 合格基準を満足する。</u> <u>7.2) (1 セット部品×50h) の試験を 3 回を行い、3 回の試 験とも上記の合格基準を満 足する。</u>
Appendix III 書式-7 c -2	3-34	寿命評価方法 (A2FO10) 評価時間 (500h)	粘度変化 (4 0℃) (%) 1 0	粘度変化 (4 0℃) (%) ⁷⁾ + 1 0
Appendix III 書式-7 c -2 注	3-35	7)	—	<u>JCMASP045 については、試験時 間 500 時間に達するまでの各 時間の分析値が、基準値を満足 することとする。</u>
Appendix III 書式-7 d -2	3-37	寿命評価方法 (A2FO10) 評価時間 (500h)	粘度変化 (4 0℃) (%) 1 0	粘度変化 (4 0℃) (%) ⁷⁾ + 1 0
Appendix III 書式-7 d -2 注	3-38	7)	—	<u>JCMASP045 については、試験時 間 500 時間に達するまでの各 時間の分析値が、基準値を満足 することとする。</u>

Appendix 5

建設機械用油圧作動油の処方変更時のリードアクロス許容範囲

訂正前

Table. A リードアクロス基準の適用範囲一覧表

項目	処方開発時の変更		オンファイル届出 (基準処方)	届出处方からの変更	
	高圧ポンプ試験 ⁽¹⁾	その他の試験		高圧ポンプ試験 ⁽¹⁾	その他の試験
1. ベースオイルの変更	Table Bの範囲でリードアクロス可	変更都度実施		Table Bの範囲でリードアクロス可	変更都度実施
2. 主要添加剤の小変更	Table Cの範囲でリードアクロス可	変更都度実施		届出者のみ Table Cの範囲でリードアクロス可	-
3. 流動点降下剤、消泡剤の変更	リードアクロス可	流動点、消泡性のみ実施		リードアクロス可	流動点、消泡性のみ実施
4. 粘度グレードの変更	Table Dの範囲でリードアクロス可	変更都度実施		届出者のみ Table Dの範囲でリードアクロス可	-

訂正後

Table. A リードアクロス基準の適用範囲一覧表

項目	処方開発時の変更		オンファイル届出 (基準処方)	届出处方からの変更	
	高圧ポンプ試験 ⁽¹⁾	その他の試験		高圧ポンプ試験 ⁽¹⁾	その他の試験
1. ベースオイルの変更	Table Bの範囲でリードアクロス可	変更都度実施		Table Bの範囲でリードアクロス可	変更都度実施
2. 主要添加剤の小変更	Table Cの範囲でリードアクロス可	変更都度実施		届出者のみ Table Cの範囲でリードアクロス可	変更都度実施
3. 流動点降下剤、消泡剤の変更	リードアクロス可	流動点、消泡性のみ実施		リードアクロス可	流動点、消泡性のみ実施
4. 粘度グレードの変更	Table Dの範囲でリードアクロス可	変更都度実施		届出者のみ Table Dの範囲でリードアクロス可	変更都度実施